

解答

問一 わたり鳥
問二 太陽の位置 ～ ていること
(2)(1) 体内時計

問三 A 4
問四 B 3
問五 C 2
この鳥は晴

問六 地球の自転にともない太陽の位置が変化するから。
鳥たちが体内時計を使って太陽の位置を正確に知り、太陽コンパスを補正すること（を調べるための実験。）
ある決まった方角からのみ餌が出ること。

問七 a (2)(1) →
問八 D 1 E 2 F 1
計器 b 解明 c 慣 「らす」 d 景色 e 戸外

問九

問一 a 熟成 b 無性 c 忠告 d 平 「らげる」
問二 A ウ B エ C 力 D ア E オ

七生と私のギクシャクした関係が元どおりになること。

問四 (1) 夜中にこっそりケーキを食べようとしている（と思った。）
(2) 腐ったバースデーケーキをそつと捨てよう（としていた。）

問五 「だつて、ななちゃんこういうの嫌いでしょ」

問六 泪が出そうになつた（ということ。）

問七 私の前ではおいしいと言つていた

問八 ア イ ウ イ ウ ァ
問九

問十

解説

一
問一 ――の前に着目すると「これらの鳥たち」とは、ヒタキの類や、ツル、カモの類などの「わたり鳥」をしていることがわかります。

問七 ――6を含む段落にある「彼はクレマーと」ではじまる一文に学習の内容が書き表されているので、設問の指示に従つて「ある決まった方角からのみ餌が出ること。」という内容をまとめます。

二
問三 ①の前後から、七生と私がギクシャクし、三日経つても、七日経つても、どうにもならず、時間が経つても元どおりにならなかつたことがわかるので、これらの内容から説明します。

問十 おなかを壊すかもしれないのに腐ったケーキを食べる「私」の姿からは、七生の気持ちを大事にする様子が伝わってきます。七生は「私」が自分の気持ちを受け入れてくれたことをうれしく思い、泣いていることがわかるので、選択肢イが選べます。